



入学式



体育大会 マスコット



対面式



校歌応援歌練習



体育大会 応援合戦



インターアクトクラブ設立式



令和4年7月
第140号
南砺福野高等学校PTA
印刷 牧印刷株式会社

ご挨拶



令和4年度PTA会長を務めさせていただきます。歴史ある南砺福野高校のPTA会です。今、世の中はようやくコロナ禍が収束しつつある状況ではありますが、まだまだ日常を取り戻すには至っていません。この様な状況の中ではありますが、生徒たちが少しでも「以前に近い環境」や「新しい環境」のもとで充実した学校生活を過ごす事が出来るように活動してまいりますので、先生方はじめ皆様のご理解、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。また、本年度もPTA総会につきましては書面決議による総会開催とさせていただきます。この場を借りてお詫び申し上げます。

さて、数年続いている新型コロナウイルス感染症ですが収束に向かっている状況とはいえ、まだまだ色濃く我々の日常や学校生活、社会活動に影響を与え続けています。この様な状況ではありますが、ようやく最近では生徒たちの高校生活も少しずつですが日常を取り戻すべく方向に向かっているのかなと感じております。

しかし、今年に入ってからロシアによるウクライナ侵攻に端を発した世界情勢・世界秩序の混乱という新たな問

褒めることは認めること

校長 辻 本 努



今年度より校長を務めております。PTA会員の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。前会長の本田様には、これまでのご尽力に感謝申し上げます。今年度は顧問として様々な場面でご助言いただきありがとうございます。新会長の横山様には、またPTAのさらなる活性化に向けてご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、三重県に「ほめちぎる」自動車教習所があるのをご存じでしょうか。指導教官が教習生をとにかく褒めるのだそうです。そのことで緊張がほぐれ、運転に対する意欲が高まり、検定合格率も上がっています。そんなに褒めればかりでは、危険なドライバが増えそうな気がします。この教習所での「褒める」は、おべんちゃらや調子のいいことを言うのではなく、できなかつたことができるように「認める」ということであり、まずしっかり褒めたうえで改善点があれば指摘しているとのことなのです。

題も発生しており、今まで想定さえしていなかった様々な影響が身の回りに起こり始めております。

この様な環境の中で、私達親世代は変に情報に振り回され右往左往し元気が無いのに対し、子供たちの生活の様子を見ていると私達親世代よりもずっとポジティブにアフターコロナ時代や新しい世界に向けて日々明るく元気に生活しているなどと感じ、逆に勇気づけられる事も度々あります。この歴史の転換期になるような時代に高校生活を送っている生徒たちですが、悔いのない充実した高校生活を送れるように少しでも力になれる様に活動をしていきたいと考えております。

この様な激動の時代だからこそ新しい事、新しい考え方や手法が新たに生まれてくるのだと私は考えております。今年もまだまだ以前の様な活動は出来ないかもしれませんが、「元に戻す事」だけではなく「新しくやる事」も考えつつ状況を見ながらではありますがが学校・家庭・地域の皆様の方々とともに協力し合いより良いPTA活動をしていきたいと考えております。

最後になりますが、皆様と共に色々知恵を出しながらPTA活動を行ってまいりたいと思っておりますので一年間よろしくお願ひいたします。

PTA会長 横山 征典

子供を少しでも成長させたいと思うあまり、欠点やできないことばかりに目が行きがちになりますが、どの子供も褒められたい、認められたいという気持ちがあると思います。(私的な話になりますが、私自身、先生から褒められた数少ない経験は今でも鮮明に記憶に残っています。現在この職業に就いているのも、中学時代の英語の先生に褒められたことがきっかけだったからです。)ですから、子供の成長と共に喜び、その努力を認め、大いに褒めてやるのが大切だと思います。また、失敗したときには叱責するのではなく、良かった点を見つけ、褒めてやることで子供を安心させ、そのうえで改善点をアドバイスしてやればよいのではないのでしょうか。こうしたことが子供たちの自己肯定感を高め、更なる成長につながるのではないかと思います。

おわりに、生徒が充実した高校生活を送り、「南砺福野高校で学んでよかった」と思えるよう、保護者等の皆様とともにしっかり支えていきたいと思っておりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

1
学年

11H副 松井 (保健体育) 12H副 坂下 (理科) 13H副 井上 (数学) 14H副 水木 (英語) 15H副 山本 (保健体育) 16H副 長谷川 (農業) 17H副 島田 (農業) 11H 田辺 (数学) 12H 西野 (地歴公民) 13H 中木 (国語) 14H 後藤 (家庭) 学年主任 沼田愛 (国語) 15H 関口 (英語) 16H 眞田 (農業) 17H 篠原環 (福祉)

夏休みから2学期にかけては、福祉科の介護実習を皮切りに、農業クラブの研修会や全国大会リハール、また英語イマージョンセミナーやオープンキャンパス参加など、体験的な学びの機会が多くあります。また9月の進路セミナーでは保護者の皆さまにもご協力いただき、様々な職業に関するお話を聴くことも計画しております。生徒それぞれの進路意識・職業観を育て、2学期の文理選択や類型選択につなげたいと考えております。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

(沼田愛学年主任)

高校生活の9分の1、高校1年の1学期が終わろうとしています。入学式から本日まで、学年スタッフとしては「一気に駆け抜けた」ような、時間の流れの早さでした。生徒たちも、また保護者の皆様もそのように感じていらっしゃると思います。

1学期の主な活動を振り返ります。まず校歌応援歌練習や体育大会などの行事や部活動を通して、先輩方の熱量に圧倒されながらも、一人一人、自分ができることに全力を注いでいました。学習面では日々の授業に加え、朝テスト、週課題、教育クラウドサービスの設定・利用など、高校での学習基盤を整えました。そして定期考査、学力テスト、外部模試などを通して、自分の学力を客観視する機会も得ました。また農業環境科や福祉科では、農場当番や田植え体験、車椅子体験などの実践的な学習を通じて、普段の学びがどのように実際に生かされるのかを体験してきました。この他にも、講話「建学の精神」から伝統を受け継ぐ重みを学び、国際科の海外進学講話、農業環境科の意見発表会などで他者の話を聴くことを通じて自己の視野を広げ、考えを深める姿が見られました。

出来事の羅列となり、お子さんから聴いていた話ばかりだ、というご家庭もあるかと存じますが、このように様々なことを日々経験しながら仲間との絆を深め、生徒たちは少しずつ「中学生から高校生へ」と変化してきたと感じています。

2
学年

21H副 中田 (数学) 22H副 溝口 (理科) 23H副 鎌倉 (理科) 24H副 村 (数学) 25H副 高井 (英語) 26H副 脇坂 (保健体育) 27H副 澁谷 (福祉) 21H 黒田 (国語) 22H 森下 (保健体育) 23H 高畠 (国語) 24H 森田 (数学) 学年主任 小原 (地歴公民) 25H 橋 (英語) 26H 篠原風 (農業) 27H 早川 (家庭)

先のない話ではありませんが、あつという間には過ぎ、来年度は3年生となります。自分の満足できる進路決定ができた、高校生活に満足できたと思えるように、また生徒達にとって大きく羽ばたける「ジャンプの年」となるように、先を見据えたサポートを心がけていきたいと考えています。

保護者の皆様方には今後とも学年の教育活動にご理解とご協力をお願いします。

(小原学年主任)

あつという間に2年1学期が終わろうとしています。年度当初の学年集会では、2年生は「ステップの年」にしてほしいという話しをしました。今年度は、各学科での専門的な学びが増えています。

普通科は文系・理系に分かれて自分の進路志望に応じた学習を行い、国際科は、5月に福島県のプリティッシュヒルズで語学研修を行い、実践的な英語力を高めてきました。農業環境科は、3類型(草花・野菜・土木)に分かれて専門的な学習を行い、福祉科は6月に介護実習に行き、実践的な学習を行いました。今後、普通科の研修旅行(8月)、国際科の語学研修(3月)、農業環境科・福祉科の研修旅行(12月)を予定しております。各学科の専門的な学びが深まるように、また自己の進路選択に役立つように、校内での教育活動とは異なった環境での諸活動を通じて友情と連帯が深まるよう、準備を進めています。

また、各教科や各学科の学習をするだけが高校ではありません。生徒会活動や部活動、学校行事といった活動の運営の中心は、3年生から2年生にバトンタッチしています。こうした活動に生徒達が主体的に取り組み、社会に出てから役立つ力やスキルを身につけることができるように支援をしていきたいと考えています。

3 学年



31H副 阿尾 (国語) 32H副 野口 (地歴公民) 33H副 広岡 (数学) 34H副 寺井 (数学) 35H副 沖田 (数学) 36H副 宮浦 (国語) 37H副 田嶋 (家庭・福祉) 副担任 高田 (美術) 副担任 灰塚 (保健体育)

31H 照井 (英語) 32H 鶴川 (保健体育) 33H 牧野哲 (理科) 34H 高橋 (理科) 学年主任 小森 (英語) 35H 土田 (英語) 36H 渡辺 (農業) 37H 金谷 (福祉)

入学当初から新型コロナウイルスの蔓延に伴い、マスク着用等の様々な感染予防策に翻弄されて学校生活を送ってきたこの学年も、いよいよ最終学年のほぼ3分の1を終えようとしています。この間、様々な学校行事の中止や部活動時間の制限など、常に我慢を強いられてきた生徒たちには、息抜きの機会や、学業以外にも力を発揮する機会を少しでも与えられたら、と思っていました。そんな中、5月には高校で初めてとなる遠足を実施することができ、学年全体で共有できる思い出をつくろうと全学科で立山博物館やまんだら遊園を見学してきました。そして6月には、昨年に引き続き無観客開催となっていました。体育大会も実施することができました。3年生は応援合戦やマスコット制作で中心となって各団の団結力を高めてくれただけでなく、競技にも全力で取り組み、下級生の模範となって頑張りました。アンケート結果からも「楽しかった」「最高だった」などの声が非常に多く聞かれ、高校生活最後の大きな行事を大きな充実感で締めくくりました。

さて、いよいよ夏休みがやってきます。「夏休み」とは言え、特に普通科や国際科は補習や特別講座等も用意され、本当に休んでいるわけにはいきません。昨年の学年集会からずっと言い続けていることですが、特にこの夏以降の大切な時間を「浪費」せず「投資」に使えたかどうか、卒業後の進路に大きく影響してきます。進路する人も就職する人も、1日1日、1時間1時間を、自分を高めるために大切に使うしてほしいと思います。我々3学年のスタッフも、一人ひとりの目標とする進路実現に少しでも役立てるように一杯サポートしていきます。

(小森学年主任)

新任教職員紹介



名前
①担当教科
②部活動顧問



辻本 努
校長
①英語



沼田 大志郎
①地歴公民
②ライフル射撃



山本 邦彦
①保健体育
②陸上



高橋 富士子
①理科
②ライフル射撃、茶道



照井 克朗
①英語
②卓球



関口 健
①英語
②男子バレーボール



西野 有紀
①地歴公民
②なぎなた



井上 航平
①数学
②女子バレーボール



溝口 倫明
①理科
②山岳



中木 晴香
①国語
②女子ソフトテニス



松井 大樹
①保健体育
②サッカー



中西 桂三
①農業
②男子ソフトテニス



島田 誠治
①農業
②スキー



高尾 直和
①地歴公民
②写真



村 健太郎
①数学
②文芸



灰塚 千沙都
①保健体育
②女子バスケットボール



坂下 菜穂
①理科
②バドミントン



小島 隆彦
①国語



山田 二千海
①地歴公民



東瀬 史高
①保健体育



金杉 響
①書道



高田 陵平
事務



高島 宏美
事務

進路懇談会に参加して

3年農業環境科 田中みさと

5月14日(土)東雲ホールにて3年農業環境科・福祉科の進路懇談会が行われました。勉強や部活に一生懸命取り組んでいる毎日、仲間を支えられながらの高校生活も最後の年となりました。懇談会では先生方から進学や就職の詳しいお話がありました。いよいよ進路の決定をしなくてはならない時期が来たと感じました。

これまで生活面では、コロナウィルスの影響で日々の活動や行事の中止や延期がありました。そのような中でも子供たちの揺れ動く心や不安に対して、先生方は丁寧に寄り添ってくださいました。

また進路相談では、各大学や各就職先の情報収集をしてくださり、希望する方面へ迷いなく向かっていける様に指導して下さいています。親も子供の進路決定に向けて一緒に考え、話し合い、納得の出来る進路に進んで行ける様に全力でサポートしていきたいと思いました。そして、未来へ向け成長し笑顔で卒業式を迎えられる事を願っています。

3年農業環境科 吉田 亜紀

5月14日(土)に3年農業環境科・福祉科の進路懇談会が開催されました。コロナ禍による休校からスタートした高校生活も、早くもこの時期を迎えるのかと思うと感慨深いものがありました。

懇談会では、まず近年の進学・就職状況をうかがい、そして現在の子供達の様子、今後の進路決定にむけての日程や取り組みについて詳しく説明して頂きました。その後の学科



別懇談会ではより詳しいお話を聞き、先生方が日頃から子供達にとっても親身に寄り添ってくださり、熱心にご指導していただいていることに頭が下がる思いでした。

この恵まれた環境に感謝し、子供達が心から願う進路に向かって踏み出せるよう、親として出来る限りのサポートをしていきたいと思っています。

3年福祉科 梅基 智子

5月14日(土)3年農業環境科・福祉科進路懇談会が東雲ホールにて行われました。全体会では就職・進学までの流れや具体的な日程が説明され、その後の学科別懇談会では、より具体的に介護実習や介護福祉士国家試験に向けての日程や活動内容についての話を聞かせていただきました。

子供たちにとって進路を決める大事な一年。先生方の熱心なご指導のもと、子供たちは自分の進路と向き合いながら、今から迎える介護実習や国家試験に向けて悔いの無い取り組みができるよう、一日一日を大切に頑張っていると思います。

3年福祉科 清都 美香

5月14日(土)3年農業環境科・福祉科の進路懇談会が行われました。近年の進学状況や就職状況、具体的な日程や学校側の取り組み、介護福祉士国家試験に向けての説明を聞きました。

進路を決めるにあたり、子供との向き合い方や親としての心構え、子供とたくさん話し合い、どうしたいのか思いを共有して欲しい等と先生方の熱意ある言葉に心を動かされました。

今日の話を頭に置き、子供と共に考える時間を大切に、子供たちが不安と後悔のない挑戦ができるよう全力でサポートしていきたいと思っています。

3年普通科 佐々木 敏幸

7月2日(土)普通科、国際科の進路説明会に参加しました。今年はコロナ感染防止対策および、連日の猛暑日での熱中症を避

けるため、会場は各教室とのリモート形式での開催となりました。また保護者の方々の参加数から本会の関心の高さがかがえました。入試の概況として学部や共通テスト入試の近年の傾向をお話しただき、続いて入試日程と仕組み、出願受験に向けての注意事項や受験進学にかかる費用についてわかりやすく説明いただきました。

入試までは196日となりました。長いようで短い期間でありこれから本格的に入試に向けて濃密な時期を過ごすこととなります。先生方のご指導のもと、保護者としては生徒たちの成長力、決断力を信じて、受験に向けては心身を適切にサポートしていき、全力を尽くして最良の結果を出せるように見守っていききたい。そう感じた説明会でした。

3年普通科 南 篤志

7月2日(土)、進路説明会が開催されました。大学入試の概要や進学経費等について説明していただき、また、遠足や体育大会の様子もお聞きし、様々な学校行事の中で成長する子供たちを支えてくださっている先生方の熱意と温かさを感じました。

一番心に残ったのは、「親は先回りせず、マネージャーに徹する」という言葉です。大学入試に向け、口出ししすぎず、子供の思いを聴くことを大切に、子供が安心して挑戦できるよう、サポートしていきたいと思っています。



3年国際科 南 公人

7月2日(土)に3年普通科・国際科の進路説明会が行われました。先生方から大学入試等についての話を頂きました。

その中で今の3年生はコロナの影響で学校行事がほぼ中止となり、とても寂しい思いをしているという話がありました。いろいろと我慢してきたかと思いますが、その思いを子供たちには大学入試につけてほしいと思います。

必ずその先に明るく楽しい未来が待っています。また、これからは今以上に国際化が進むと思いますが広い視野をもって世界へ羽ばたいてほしいと思います。

令和4年度 PTA役員紹介

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、PTA総会は書面審議にて行いました。4月27日(水)にPTA役員の初顔合わせをしました。役員は以下の通りです。

PTA会長	横山 征典
PTA顧問	本田 敏
PTA副会長	
総務委員長	松井 聡之
総務副委員長	嶋田 徳明
生徒生活指導委員長	田原 昭彦
生徒生活指導副委員長	野原 信作
厚生部活動委員長	丈田 幸平
厚生部活動副委員長	金田 将
学級委員会委員長	依 敬倫
学級委員会副委員長	松井 貞樹

1年間よろしく
お願いします。

